
株式会社フィスコ

平成23年12月期 第2四半期決算短信補足説明



平成23年8月12日

当第2四半期連結累計期間の主な取り組み

収益力強化のための子会社設立及びグループ経営効率化

- 国内におけるファンド関連事業を目的に、(株)フィスコ・キャピタル設立(3月)
- オフショア・ファンド事業を目的に、英領ヴァージン諸島にFISCO International (BVI) Ltd.設立(5月)
- リサーチアンドプライシングテクノロジー(株)の株式譲渡により、持分法適用会社から除外(3月)

中金オンライン社(福建中金在線網絡股份有限公司)との資本業務提携の強化

- 中金オンライン社を実質保有する英領ヴァージン諸島籍会社、中金在線有限公司の株式を子会社FISCO (BVI) Ltd.が組成したFISCO (BVI) Limited Partnershipが取得。(1月)
- 中金オンライン社のウェブサイト(FISCO専用ページ(<http://fisco.cnfol.com/>))を開設。(5月)

平成23年12月期 第2四半期連結累計期間業績

(単位:百万円)

	平成23年12月期 第2四半期	平成22年12月期 第2四半期	差異	前期同期比
売上高	376	506	▲ 130	74.3%
売上原価	109	194	▲ 85	56.2%
売上総利益	267	311	▲ 44	85.7%
販売費及び一般管理費	252	366	▲ 114	68.9%
営業利益	14	▲ 54	69	—
経常利益	10	▲ 47	57	—
四半期純利益	62	▲ 3	66	—

平成23年12月期 第2四半期連結累計期間業績

売上高

売上高は、前年同期と比較して情報サービス事業で24百万円の減少、コンサルティング事業で31百万円の減少及び前年度においてシグマベイスキャピタル社を連結の範囲から除外したこと(74百万円の減少)による影響により減収となりました。

営業利益

営業利益につきましては、売上原価及び販売費及び一般管理費の圧縮に努めました結果、当第2四半期におきまして14百万円の営業利益を計上いたしました。

経常利益

経常利益につきましては、「持分法による投資利益」10百万円を営業外収益に計上した一方で、円高の影響による「為替差損」13百万円の営業外損失等の計上により、10百万円となりました。

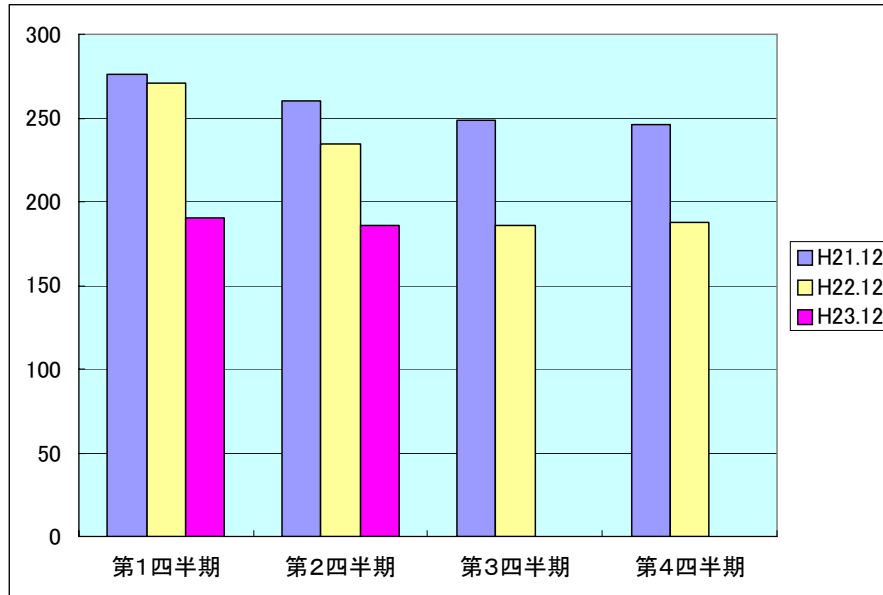
四半期純利益

四半期純利益は、「組合持分譲渡益」68百万円の特別利益がある一方で、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」11百万円の特別損失等により、四半期純利益は62百万円となりました。

平成23年12月期 第2四半期連結業績～四半期推移

連結売上高

(単位:百万円)

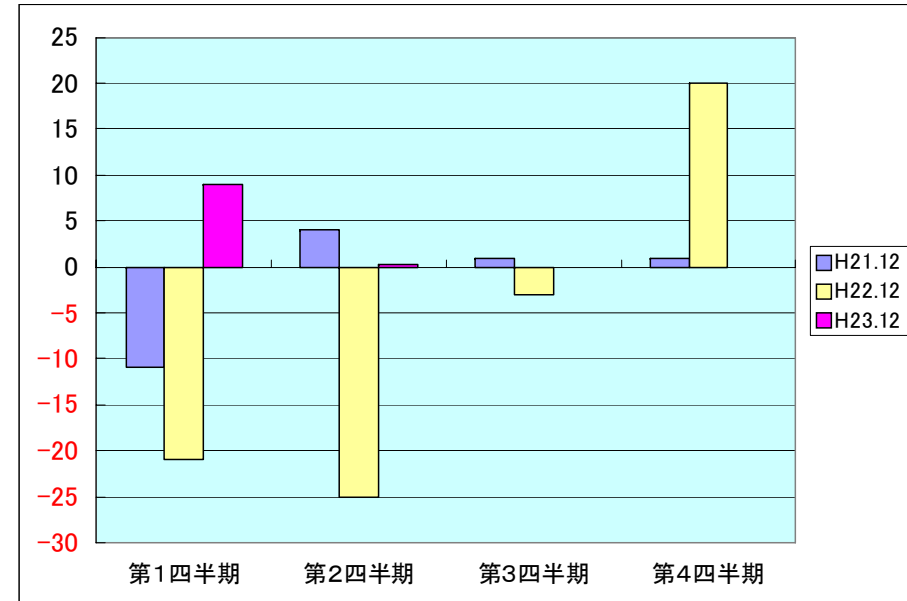


(単位:百万円)

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
H21/12	276	260	249	246
H22/12	271	235	186	188
H23/12	190	186	-	-

連結経常利益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
H21/12	▲ 11	4	1	1
H22/12	▲ 21	▲ 25	▲ 3	20
H23/12	9	0.2	-	-

セグメント情報(第2四半期連結累計期間)

情報サービス事業

前年同期比24百万円減少

〈主な増収要因〉

- | | | | |
|----------------|---------|---|--|
| ■ アウトソーシングサービス | + 19百万円 | ⇒ | 新規顧客の獲得により堅調に推移。 |
| ■ 企業調査レポート | + 4百万円 | ⇒ | 当社のアナリストが中小規模上場会社の最新の決算状況を中正・公平な視点で分析する企業調査レポートの提供先の拡大に注力。 |

〈主な減収要因〉

- | | | | |
|---------------------------------|--------|---|--|
| ■ 法人向けリアルタイムサービス | △32百万円 | ⇒ | 新規契約があるものの、金融機関のコストカットによる影響を受け減収。 |
| ■ 個人向けサービス
クラブフィスコ(LaQoo+含む) | △11百万円 | ⇒ | 東日本大震災による市況悪化及び新規公開企業(IPO)数の減少により、個人投資家の投資意欲が減退傾向。 |

コンサルティング事業

前年同期比31百万円減少

〈主な増減要因〉

- | | | | |
|----------------------|--------|---|--|
| ■ ファンドアドミニストレーターサービス | △33百万円 | ⇒ | 前連結会計年度において大口スポット契約があった影響 |
| ■ ファンド事業関連 | +11百万円 | ⇒ | 連結子会社FISCO (BVI) Ltdが業務執行しているFISCO (BVI) Limited Partnershipからの収入。 |

※前年度において、シグマベイスキャピタル(株)を連結から除外した影響によりその他(教育関連事業)で74百万円減少。

連結貸借対照表 主要項目(前期末比)

(単位:百万円)

	平成23年12月期 第2四半期末	平成22年12月期末	変動額
流動資産	1,010	1,201	▲ 190
現金及び預金	869	1,064	▲ 194
その他	140	136	4
固定資産	464	288	175
有形固定資産	37	40	▲ 2
無形固定資産	25	33	▲ 8
投資その他の資産	401	214	186
繰延資産	3	4	▲ 0
資産合計	1,477	1,493	▲ 16
流動負債	91	81	10
固定負債	53	65	▲ 11
負債合計	145	146	▲ 0
資本金	1,195	1,195	-
資本剰余金	850	850	-
利益剰余金	▲ 565	▲ 627	61
自己株式	▲ 130	▲ 43	▲ 87
評価・差額換算等	▲ 22	▲ 27	5
新株予約権	4	-	4
純資産	1,332	1,347	▲ 15
負債・純資産合計	1,477	1,493	▲ 16

子会社FISCO(BVI)Ltd.
が組成した
FISCO(BVI)Limited
Partnershinによる中金
在線有限公司株式を取
得いたしました。

当第2四半期におきまし
て自己株式の取得を実
施いたしました。

連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

資産の部

・現金及び預金		△194百万円
① FISCO (BVI) Limited Partnershipによる中金在線有限公司株式取得費用		△249百万円
② 同Partnershipの持分譲渡による収入		+123百万円
③ 自己株式取得費用		△87百万円
・投資有価証券		+188百万円
FISCO (BVI) Limited Partnershipによる中金在線有限公司株式取得による増加		+193百万円

負債の部

・流動負債		+10百万円
① 借入金の返済		△4百万円
② 資産除去債務の計上		+12百万円
・固定負債		△11百万円
借入金の返済による減少		△11百万円

純資産の部

・利益剰余金	第2四半期純利益の計上による増加	+61百万円
・自己株式	自己株式取得による減少	△87百万円
・新株予約権	新株予約権付与による増加	+4百万円